

もっと 知ろう

みんなの議会



中城村

# どしどしだより

題字：津覇小六年 新垣 愛美



あたらしい議会の顔

2

9月定例議会

4

9月議会一般質問

6

第25号

平成22年 9月議会

写真：津覇小のチョンダラー EXILE（運動会より）

# 議会の顔

## 地方自治の一翼を担う議会をめざし

このたび、9月12日の改選に伴い新しい議会の顔ぶれが決まりました。議会の果たす役割である行政へのチェック機能の充実に加えて政策提言能力の向上に最大限努めてまいります。“村民の声を村政へ”橋渡しする地方自治としての一翼を担う働きに邁進してまいります。



議長 比嘉 明典



副議長 宮城 重夫



新垣 徳正 議員



金城 章 議員



新垣 博正 議員



伊佐 則勝 議員



(写真は議席順です)



仲眞 功浩 議員



仲宗根 哲 議員



仲座 勇 議員



與那覇 朝輝 議員



新垣 光栄 議員



新垣 善功 議員



仲村 春光 議員



宮城 治邦 議員



新垣 健二 議員



安里 ヨシ子 議員

# 議会改選!

# あたらしい

## || 議会役職一覧 ||

※平成22年9月28日現在

議長 比嘉 明典

副議長 宮城 重夫

### 常任委員会

#### 総務常任委員会

委員長	新垣 光荣
副委員長	與那覇朝輝
委員	宮城 治邦
〃	仲宗根 哲
〃	伊佐 則勝

#### 建設常任委員会

委員長	仲村 春光
副委員長	仲真 功浩
委員	宮城 重夫
〃	仲座 勇章
〃	金城 章

#### 文教社会常任委員会

委員長	新垣 博正
副委員長	新垣 徳正
委員	新垣 善功
〃	安里ヨシ子
〃	新垣 健二

#### 議会運営委員会

委員長	新垣 光荣
副委員長	仲座 勇
委員	宮城 重夫
〃	仲村 春光
〃	安里ヨシ子
〃	仲宗根 哲
〃	新垣 博正

#### 議会だより編集委員会

委員長	新垣 博正
副委員長	伊佐 則勝
委員	仲真 功浩
〃	新垣 光荣
〃	新垣 徳正
〃	金城 章

#### 中城村北中城村清掃事務組合議員

議員	比嘉 明典
〃	仲座 勇
〃	新垣 徳正

#### 中城北中城消防組合議員

議員	宮城 重夫
〃	仲宗根 哲
〃	新垣 健二

#### 沖縄県介護保険広域連合議会議員

議員 新垣 博正

#### 沖縄県後期高齢者医療広域連合議会議員

議員 仲真 功浩

#### 監査委員

議員 與那覇 朝輝

### 中城村議会事務局



係長  
新垣 修

事務局長  
大湾 朝秀

事務局職員(臨時)  
上原 麻子

平成  
22年度

# 第5回定例議会

(9月28日~10月15日)

議案第22号

可決

固定資産評価  
審査委員会委員の選任

委員 仲村 喜光  
(中城村字安里)

議案第23号

可決

## 浜漁港第一波除堤及び航路標識工事請負契約

契約金額：5,510万4千円 (税込み)  
請負業者：仲本建設株式会社

認定第1号

認定

## 平成21年度一般会計歳入歳出決算

# 中城村の **お金** の使い道

中城村に入ったお金

歳入総額：55億2,634万4,499円

中城村が使ったお金

歳出総額：53億 626万1,911円

残ったお金

差引残額：2億2,008万2,588円

つまり

平成21年度の予算のうち、これだけ使いました

執行率  
96%

ちなみに

前年度と比較すると  
(平成20年度) 歳入は、8,062万6,290円 (1.5%) の増  
歳出は、3,106万 615円 (0.6%) の減

# 特別会計の使い道は？



認定第2号

認定

## 国民健康保険特別会計

歳入総額：21億5,546万6,834円  
歳出総額：21億2,361万 78円  
差引残額 3,185万6,756円

前年比では、歳入が1億3,141万3,184円 (5.7%) 減  
歳出が1億 689万3,304円 (4.8%) 減

主に医療に使ったお金

認定第3号

認定

## 後期高齢者医療特別会計

歳入総額：9,593万6,099円  
歳出総額：9,561万3,987円  
差引残額 32万2,112円

前年比では、歳入が116万2,788円 (1.2%) 増  
歳出が497万6,400円 (5.5%) 減

主にお年寄りの医療に使ったお金

認定第4号

認定

## 公共下水道事業特別会計

歳入総額：3億2,148万8,704円  
歳出総額：3億1,984万8,074円  
差引残額 164万 630円

前年比では、歳入が390万9,252円 (1.2%) 増  
歳出が324万6,870円 (1.0%) 増

主に下水道を整備するために使ったお金

認定第5号

認定

## 土地区画整理事業特別会計

歳入総額：5億7,651万6,903円  
歳出総額：3億1,650万8,193円  
差引残額 2億6,000万8,710円

前年比では、歳入が1億1,463万5,666円 (24.8%) 増  
歳出が4,288万1,825円 (11.9%) 減

主に南上原土地区画・公園整備に使ったお金

認定第6号

認定

## 老人保健特別会計

歳入総額：1,420万4,596円  
歳出総額：1,412万 459円  
差引残額 8万4,137円

老人保健特別会計は、平成19年度をもって制度が  
廃止された為、精算業務が主な業務となっている。

認定第7号

認定

## 水道事業会計

収益的収入：4億2,764万4,647円  
歳出総額：4億1,846万 866円  
資本的収入：4,400万円  
資本的支出：1億791万2,596円

主に安全な水を供給するために使ったお金

# 平成22年度補正予算

～予算の増減がありました～

**議案第24号 可決**

## 一般会計 (第2号)

補正額： 3億6,780万1千円 増額  
総額： 56億3,166万3千円

**議案第25号 可決**

## 国民健康保険特別会計(第1号)

補正額： 70万9千円 増額  
総額： 21億6,872万1千円

**議案第26号 可決**

## 土地区画整理事業特別会計(第1号)

補正額： 1億1,711万7千円 増額  
総額： 4億1,743万4千円

**議案第27号 可決**

## 公共下水道特別会計(第1号)

補正額： 362万8千円 減額  
総額： 3億6,869万2千円

平成22年度 **第6回臨時議会** (11月25日)

**議案第29号 可決**

特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例

### 村長、副村長の期末手当を0.15月分減額

**議案第30号 可決**

教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例等の一部を改正する条例

### 教育長の期末手当を0.15月分減額

**議案第31号 可決**

職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

### 職員の給与を、沖縄県人事委員会の勧告に従い改正する

**議案第32号 可決**

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

### 一部の職員の(6級職)給与を減額

**議員** 以前あった説明会で上地区(南上原)登文の小学校設置のうち、幼稚園の件を再度伺います。  
**教育総務課長** 小学校の施設を幼稚園に利用する場合、国庫納付金が発生する。面積的には非常に厳しい結論になりました。  
**議員** 幼稚園の初年度の人数、二九年度迄の五年間の児童人数、教室数、設備等は。  
**教育総務課長** 平成二五年度四四人、二六年度四

## 南上原小学校 (仮称)



仲 座 勇 議員

**一般質問** 平成二三年 九月定例議会

八人、二七年度の推計からは報告できません。  
**議員** 二三年度～二五年度三月末迄の小学校建設予定の生徒の教育状況、父兄の負担等はどうなるか。  
**教育総務課長** 現分校施設では授業環境が危惧されるので移動を検討している。現分校施設の東側に仮設校舎を建設、分校敷地、隣接地の保留地、津覇小学校、以上の四通りが想定されている。  
**議員** 将来小学校に村立保育園、村立幼稚園を一体として設置する考えはないか。  
**村長** 民間への委託も含めて認定子供園などの制度も含めて幼保一元化に積極的に取り組んでいきたいと思っており、村立での幼稚園、保育園の設立は考えておりません。

**土地区画整理事業**  
**議員** 歩道の整備と街灯の設置について伺う。  
**都市建設課長** 歩道整備

は平成二三年度～二四年度にかけて舗装し、街灯も同時に考えている。  
**議員** 整備完了区域の地権者の土地の管理はどうなっているか。  
**都市建設課長** 完了した箇所から収益開始の通知を地権者に送付し、除草作業等の指導等を行っている。  
**議員** 軽自動車、二輪車の車庫の件について、又、警戒標識の件について伺う。  
**住民生活課長** 平成十九年度から把握しており、宜野湾警察署のほうで駐車禁止の要請等を行っているが、公安委員会の回答が来ておりません。  
**都市建設課長** 住民生活課も一緒に現場を確認して、所有者、地権者等へ協力呼びかけ等も行っていきたく思っています。  
**住民生活課長** アパートの経営者、住民も困っているんだと訴えていきたい。



### 発電所関連

新垣 徳正 議員

**議員** 沿岸道路整備事業で地権者との合意形成は。  
**都市建設課長** 施行同意を地権者の方からもらっている状況です。九月末現在で地権者三十八名に対して同意得られたのが二三名です。率にして六〇%です。引き続き努力してまいります。  
**議員** 地区計画条件整備の取り組みは。  
**村長** 大げさに聞こえるかもしれませんが、久場の発展が中城村下地区の発展につながっていくのではないかと、重要視しております。市街化編入と言う形で決ま

つていきますと、いろいろな意味合いでその土地の利用の選択肢が広がっていくと言うもので、それを基本的に土地利用計画が立てられると言う意味では大変期待している。今後、重点的に支援していきたい。  
**都市建設課長** 地区計画の基本としては道路建設が中心になるかと思う。地域の発展も道路建設がまず先行しなければ土地の活用、企業誘致も進まないと思う。地域地権者、地元の合意を得たいと思っておりますので、是非ご協力お願いしたいと思っております。  
**護佐丸まつり関連**  
**議員** 護佐丸まつりが開催されましたがその成果は。  
**企画課長** 課題といたしましては、開催時期、場所、プログラム、シャトルバス等につきましましては今後検討しなければならぬ部分だと思えます。今回二日間、六千人を超す村内外からの参加があった事についてはひとつの成果だと思っております。開催場

所については、世界遺産の村中城をアピールできたのではと考えている。今後は課題点を十分整理しながらまつり開催に向けてデータ化し取り組みたい。  
**村長** 感想として、やってよかったと思う。ただ反省点も多かったと言うのも実感としてある。  
**村こども育成関連**  
**議員** 「村子連」の交流事業費が予算化されていないが今後の取扱いは。  
**村長** 私も自身も事業に参加したこともある。十五年以上も続いている事も有り今後も出来る限り支援していきたい。  
**生涯学習課長** 今後は村の人材育成基金を活用し事業の継続を検討していきたい。  
**議員** 人材育成基金の活用には当たっては制度上の問題は無いのか。  
**企画課長** 人材育成基金はこどもたちのための派遣費等を含むと条例化されておりますので、当然それらの交流事業にも充てたいと判断しております。

### 公立保育所の職員体制



安里 ヨシ子 議員

**議員** 公立の保育所で三人の退職者がいるが、村として職員の採用は無く、臨時で対応するとの事、保護者の皆さんが心配しております。村長の見解をお聞かせください。  
**村長** 今後の方針として、公立から民営化に向けての動きが盛ん、財政面、サービスの向上も含め第三保育所の民営化を考えています。保護者の方々へ理解していただき進めてまいります。  
**議員** 乳幼児期の環境は一生を左右するといわれ

ている。保育士が次々と入れ替わると子供とのコミュニケーション、保育士集団の意志疎通もうまくいかない、豊かな保育ができない。正規雇用が必要だと思います。子供達を市場原理に任せ、本来の保護するというより儲け本位の運営にならないか。貧困層、障害児、特別支援の子とかは、公立でしか救えないと思えますが。  
**村長** 臨時だからできない、正規だからできるという事は保育所の中ではあてはまらない。民間のサービスはレベルが高く、公の役目は終わっている。公立で運営していく事自体疑問。南上原地区で旺盛な需要がある。認可保育所、法人保育所としてやりたい。公立でなく私立、法人でやってもらう青写真はできている。

### 村道の整備

**議員** 農道泊地内の七四号、七五号、八〇号線は地域住民のウォーキング

コースとして行き交う人達の憩いの場として利用されているが、道がどこで穴ぼこに足をとられる事もあり、何とかしてほしい。村の整備計画はありますか。  
**農林水産課長** 平成二十年の計画で平成二十二年の実施予定だったが、土地改良区の同意が得られず、現在の状況にある。農業農村整備管理計画をたて、市町村レベルで出来るように、当間土地改良区を四区画に分け整備していく計画を練っている最中です。  
**都市建設課長** この三つの道路は厳しい状態にある事は村として認識しております。工法等も検討し早期に改修していきたい。



### 仮設ヤード用地の 固定資産評価



宮城治邦 議員

**議員** 課税の評価替えがありました。地方税法第四〇三条及び四〇八条に準じて、公正に評価されているか。

**税務課長** 条文に沿って公正に対応している。

**村長** 税務課長の答弁を支持しています。

**議員** 地主からの異議申し立てで、税金を還付したと聞いているが事実か。

**税務課長** 実地調査は一番大事であります。事務段階において適正評価が出来なかったことは、お詫びをしないといたしません。

セツトバックされて更地になっている部分については納税者と相談をして、納税者が了解を得るまで確認をします。

### 久場前浜原線 道路建設計画

**議員** 道路建設に係る地主は何人で、何時までに同意が必要か。

**都市建設課長** 地主三八人で九月末現在同意者数が二三人で、十月末までに大方同意を得たい。

**議員** 道路建設計画の主たる目的は、準工業地に伴う市街化区域編入への条件か。

**企業立地・観光推進室長** 発電所誘致条件として、沖縄電力から地元合意形成と産業高度化地域指定という大きなポイントがあります。

市街化区域に編入し、工業適地を確保することで企業誘致の優遇税制措置等を産業高度化地域指定し、優位性が受けられることになる。

**議員** 編入された場合、排水路流末処理の計画は。

**都市建設課長** 導流堤が計画されていますので流末処理は可能かなと、現在よりは環境悪化は防げるものと思定をしております。

### 久場区からの 決議要請

**議員** 電源立地に伴う地域振興策事業について、八月五日に決議書を提出し、八月十二日の回答日を指定して要請されているが、回答

できない理由は。

**企業立地・観光推進室長**

協定書の要望事項の整理、久場区の土地利用と今後の方向性等々がありまして、関係課との調整、協議等に時間を要した為です。

**議員** 村政の発展、村民生活の基本は安心、安全が基本です。発電所の燃料は液化天然ガスが使用されますが、従来の石油、石炭と比較しての、長所と短所は。

**企業立地・観光推進室長** 地元住民の安心、安全を確保する為に短所対策をどう講じるか。

二酸化炭素の排出量も石炭に比べると四十%削減となり、地球温暖化防止対策になることでクリーンで安全なエネルギーであると説明を受けています。短所対策については地域住民の安心、安全が確保されるよう、沖縄電力とともに図っていきます。

**議員** 電源立地地域対策交付金事業の目的は。

**企業立地・観光推進室長** 電源立地、周辺地域で行われる公共施設整備、住民福祉の向上に資する事業に対して交付金を交付すること、発電用施設の設置に係る地元の理解、促進を図ることが目的です。

### 村有財産



与那覇朝輝 議員

**議員** 著作権という無体財産として、平成二二年三月に「中城城跡」整備事業報告書Ⅱが発行されているが、印刷費用、発行部数ほどの程度か。

また、それはどのように活用されているか。

**生涯学習課長** 印刷費用は九八万七千円、発行部数は三〇〇部です。配布先は県内の市町村教育委員会、国や県市町村立図書館、博物館等及び同じような事業を行っている県外の関係機関や個人等です。

**議員** 村史五編、教育委

員会発行の十五種の発行部数、及び在庫はどのようになっているか。

**生涯学習課長** 村史は一五〇〇冊から二〇〇〇冊の発行で現在六八四冊から一〇六四冊の在庫。また「中城村の民話」「中城村の屋敷」その他一三種の発行部数は三〇〇冊から三〇〇〇冊で、十月七日現在の在庫は、三四冊から七〇〇冊となっている。

**議員** 昨年作成した護佐丸のマスケットキャラクタは財産にあたらぬか。

**総務課長** 商標登録されている場合は、知的財産として登録する必要があり、調査したうえ判断したい。

**議員** 車両管理はどのようになっているか。

**総務課長** 村保有三二台、リース車両一一台計四三台の車両があり、そのうち、去る七月より十八台は総務課で集中管理し、残り二五台は担当課で管

### 村道城跡線 改良舗装事業

**議員** 用地契約や物件補償の進捗状況は。

**都市建設課長** 用地は六六%程度、物件補償は五〇%程度契約済となっている。

**議員** 今年度の事業計画は。

**都市建設課長** 用地契約八筆、物件補償三件を予定している。

**議員** 城跡線と交差する流末排水路工事が計画されているがその概要は。

**都市建設課長** 城跡線より上流側一二四m、下流側一四七m計二七一mの排水路工事を城跡線工事とは別予算で計画している。

**議員** 村道城跡線について村長はどのような思いをもっていらっしゃるか。

**村長** 世界遺産の中城城跡の正門につながる画期的な道路であり、中城のシンボルロードになるものと期待している。



# 宅地政策 (農振見直しを)



新垣 光栄 議員

**議員** 第四次基本構想の中で宅地政策をどのように考えているか。

**村長** 地域住民の意向を聞きながら基本構想などに受け入れたい。

**議員** どのようにして住民の合意形成をきめ細かく取っていくのか。

**企画課長** 住民懇談会、アンケート、ワークショップを活用しますが、ご指摘のあったきめ細かな部分については、今後研究させて頂きたい。

**議員** 農振地域の見直しを考えているのか。

**企画課長** 変更時期には

きていと思えます。

**議員** 平成二五年には農振見直しの計画を県に出さないといけない。農振見直し計画に向けて予算措置を来年度予算に盛り込むことは出来ないか。

**企画課長** 調整させて頂きたい。

## 地元優先発注

**議員** 地元企業育成・地元優先発注をどのように考えているか。

**村長** 地元企業育成は、行政に取りましても大きな仕事でございます。

**議員** 沖縄県では、最低制限価格設定基準の見直しを行っていますが、本村ではどのようになっているか。

**総務課長** そのままの状態です。

**議員** 業者の基盤確保のために、見直しを早期にやって頂きたい。村内企業育成のために、指名業者の村内と村外を八対二に割合比率を高くできないか。

**村長** 二五〇〇万円以下につきましても、優先的に

指名するのは問題ないが、二五〇〇万円以上につきましても、それに見合うランク業者がすくないので、Cクラス上位もBに入れてとか工夫をさせて下さい。

## 農業排水路の氾濫

**議員** 和宇慶検地原から北浜検地原河川の氾濫が大雨のたびに起こってる、氾濫状況の写真提供等も行っているが、現状認識はできているか。

**農林水産課長** 県職員合同で現地踏査し、補助事業として事業採択できないか要望書も提出しております、緊急対策として土砂の浚渫等を考えております。

**議員** 私のほうでも、地権者との合意形成のために一生懸命働きたいので、一緒に参加させて下さい。緊急的な対策をやってもまた、詰まると思いますのでボックスカルバートにして、管理道路がつくれるようにやって頂きたい。

# 通用しない 「継続は力なり」



仲 眞 功 浩 議員

**議員** 私は「継続は力なり」という言葉が好きです。教員の皆さんはよくその言葉を使って子供たちを励ましたりしますが、教育長はどうでしょうか。

**教育長** 大好きでございます。プールの指導については、中学校にプールがないという現状を踏まえて、教育委員会のほうでもぜひ小学校の間に泳げる子にしていこうと努力をさせて頂いております。

**議員** 私が「継続は力なり」が好きなのは、これが真実だからです。真実で子供たちに勇気を与え、

やる気を与える。だから好きなんです。

しかし、中城の中学校においては「継続は力なり」が通用しない。(水泳を)継続する場所がない。自分を高めようと思ってもできない。「継続は力なり」が悲しいというか、むなしく感じる。

## 子ども達の夢を奪う

**教育総務課主幹** 六年生の段階になると、約九割の児童が二メートル以上泳げるようになります。しかし、中学生の時期には体力的なものが伴ってきまうので、より確実に泳ぎを覚え、それから人命救助においての中学校での指導の重要性が挙げられます。

私も琉大の体育課に入った当時、小・中・高校にはプールがなかったものですから非常に苦労しました。ですから、中学校にぜひプールをつくらな

**議員** (中学校にプール

がないのは)ある意味、子供たちの未来の希望をつみ取っている。先ほど比嘉主幹が言ったように、教員になるための水泳取得に非常に苦労する。だから高校で進路を決める時に、自分は水泳ができないからこの(教員への)進路はあきらめようかと。そういう大きな問題をはらんでいる。

## 逃げずに正面から取り組め

**議員** 今、南上原に小学校を作らなくても、そんなに大きく変わることはなく何とかやっていける。ところが中学校のプールというのは切羽詰まっています。緊急性のあるものである。逃げないで真正面から取り組んでいただきたい。





# 青少年事件の未然防止

新垣博正 議員

**議員** 本島南部で少年らが女子中学生を乱暴し、被害者が自殺した事件は、社会へ大きな衝撃を与えました。当局が収集できなかった事件の概要、今後の未然防止策をどのように考えるか。

**村長** 地域全体で子ども達の安全を確保していくことが非常に大事になってくると思います。

**教育長** 強い怒りを女性として感じており、このように人権を踏みかじる行為は許されないと考えます。

## 教育総務課主幹

事件の概要については、新聞報道等で知る情報の範囲でしか把握しておりません。

命の大切さや、規範意識の高揚等の指導充実を図っていきたいと考えております。そして学校現場においても出来るだけ子どもとかわかる時間を十分に確保していきたい。

## 次世代育成支援計画

**議員** 「とよむ中城子育てプラン」で①村独自の課題、ニーズや現状の把握が十分出来ているか。②村内の子どもが根本に抱える貧困の問題。③発達障がい児への対応策について具体的な計画がされているか。

**福祉課長** ①同計画策定において保護者や児童、生徒、妊産婦等を対象に各種保育サービス、学童クラブの利用状況や意向などの項目についてアンケート調査を実施。②経済的困窮世帯を把握しながら支援に必要な事業を計画。③発達障がい

の早期発見のため乳幼児検診時等において経過観察しフォローに努めている。

## 公害問題

**議員** ①西原町工業地帯から本村地内へ油分等の流出状況②廃タイヤや処理業者が違法に高さ九・二メートルも廃タイヤを積み上げ家宅捜索を受けた報道がなされたが詳細の把握状況。③産業廃棄物焼却業者の煙害が一向に改善されないが改善命令はされているのか。

**住民生活課長** ①流出させた業者は特定されておらず、西原町からは同工業地帯より七月二日油膜の流出報告あり、南部保健所と共に行政指導等の対策を講ずることを確認した。②廃棄物処理許可業の許可更新がなされていない状態である。③西原町とも連携し注意喚起していく。

**議員** 環境保全協定を提案してはどうか。

**住民生活課長** 前向きに相談したい。

# 平和行政

伊佐則勝 議員



**議員** 平和行政について

ですが、米軍普天間基地所属のヘリコプターの飛行経路が一昨年あたりから近隣地区も同様かと思えますが、奥間集落の上空を通過するようになり、騒音がひどくなっている上に、さらに戦闘機も飛来するようになり、以前にも増して騒音被害がひどくなっております。

私たちの住む中城村には基地は所在しないものの、基地被害はもろに受けており、その解決には、危険な普天間基地を早急

に撤去させる以外にないものと思っております。

そこで、去る十月四日に本村を含め、「米軍基地の所在しない市町村連絡協議会」の発足がありました。どのような経緯で発足し、今後どのような活動を行っていくのかを伺います。

**村長** 「基地が所在しない市町村連絡協議会」の経緯、活動内容等についてのご質問ですが、経緯を少しお話をさせていただきます。

中城は場周経路の変更で、二、三年ほど前から非常に普天間基地の騒音問題が取沙汰されてきました。私が村長就任した直後から、二度ほど防衛局にも抗議活動や要請などを行ってまいりました。

当初は西原町と一緒に話をしまして、基地の所在しない市町村協議会をつくろうというところで、豊見城市、南風原町、与那原町、西原町、中城村の五市町村でスタートすること、今回の発足記者

会見に至った経緯がございます。

協議会がやるうとしている活動は、普天間飛行場に特に隣接している市町村が多々ありますので、普天間飛行場の早期閉鎖、移設を前提にした取り組み方と、また一方では、現在受けている騒音問題も含めた危険負担という考え方で、沖縄県全体で危険負担をしているというところを、防衛局も含めた、外部機関に要請行動をやりながら、しっかりと声を出していこうというのが活動の趣旨でございます。

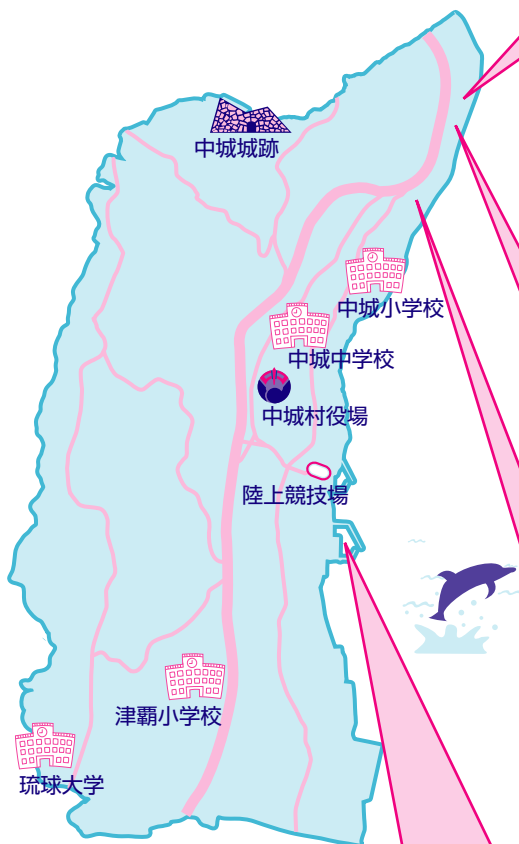
**議員** 普天間基地の早期の危険性除去に向けて、本協議会が有効に機能するよう期待しております。



行きました 見ました やってみます

# クローズアップ ありんくりん確にん

中城村議会は常に中城村の現状や、問題点を直接その目で見て、村民の皆様の生活向上のための最善を考え行動しています。



護岸に土が溜まり草地となっている



へドロ化し排水に悪影響を及ぼしている

## 久場水路の滞積物を確認

埋め立て地沿いの排水路に滞積物がたまり悪臭と汚染の原因になっていることを確認。

早急な対応が求められる

## 真尻原排水溝の完成を確認

大雨による災害防止、

農地保全に寄与します



着工前



排水が流れているのを見る (久場地内)

## 浜漁港の波除堤工事を確認



完成まではまだしばらくかかる

## 泊村道の整備状況を確認

泊区に新しい道が出来ました



すでに完成している区間



## 地方議会運営を考える

平成22年10月25日(月)に読谷村文化センターにおいて、野村稔氏による講演を聴いてきました。刻々と変化していく社会に議会がどう向き合うべきか、これからの地方議会運営を考えさせられました。

## より良い議会になるために勉強中

### 伝え、伝わる 広報誌づくりのために

平成22年11月24日(水)に自治会館2階ホールにおいて、議会広報研修会が開催され、当議会の議会だより編集委員が参加しました。越地真一郎氏による講演を聴き、村民の皆様により分かりやすく伝えることができる広報誌作りの勉強ができました。



### 議会だより編集委員



金城	新垣	新垣	仲真	伊佐	新垣
章	博正	徳正	功浩	則勝	光栄

### 編集後記

改選後、新しい編集委員の顔ぶれで九月定例議会を中心に編集作業を行いました。過去四年間の編集作業を振り返りながら、イメージチェンジを図ろうと編集委員知恵をしばり、より村民の親しめる「議会だより」へと工夫を凝らしてきました。一般的に「議会」のイメージはどうしても硬い面があり、少しでも身近に感じてもらうために行政、議会用語を出来るだけ少なくし、漢字をひらがなに変えるなどの工夫に加えて写真説明、タイトル表記なども記事を読む前に中身が連想されるようにしました。これからの四年間発刊ごとに進歩させて行きますので、お気づきの点がございましたら遠慮無く議会事務局まで読者の声をお寄せください。

(新垣 博正)

まっちょい  
びんどあ〜

## 村民の皆様の議会傍聴を歓迎します

次の定例議会は3月の予定です。